



# 広 報 栄 養 な が の

## 17号

令和  
2年

(公社)長野県栄養士会

TEL.026-235-2308 ホームページ <http://www.nagano-eiyou.com>  
FAX.026-235-0632 メールアドレス [eiyou-na@beach.ocn.ne.jp](mailto:eiyou-na@beach.ocn.ne.jp)

(公社)長野県栄養士会  
長野市大字南長野字南県町685-2  
長野県食糧会館内  
発行日/令和2年8月12日  
責任者/廣田 直子



## 会長ごあいさつ

公益社団法人長野県栄養士会  
会長 廣田 直子

この夏、東京オリンピック・パラリンピックが開催される予定でした。それに合わせて12月には、各国首脳が参集する「栄養サミット」の開催が予定されていました。2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)は、その大きなテーマの一つでした。各国が直面している「栄養不良の二重負荷」はもとより、SDGsで掲げられている17の目標の達成に、「栄養」が大きく寄与し得るからです。

その準備が進められるなか、新型コロナウイルスの感染拡大が、私たちの生活や社会に大きな変化をもたらしました。本会の本年度の定時総会も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、多くの会員の皆様に参加していただくことができずでした。会員の皆様のご理解のもと、なんとか総会を開催することができました。この誌面をお借りしてお礼申しあげます。現在、新しく選出され

た理事で構成される理事会のもと、長野県栄養士会の活動を進めております。

ウィズ・コロナと言われる状況の中で、SDGsの達成もめざしつつ、管理栄養士・栄養士はその専門性を活かした業務をどのように考え、どう行っていくべきか、専門職としての私たちの在り方が問われています。今、考えておくべきことは、アフター・コロナ、ポスト・コロナの時代にも大きな影響を及ぼすでしょう。

公益社団法人としての長野県栄養士会の在り方についても同様です。栄養問題の解決に取り組み、県民の皆様の期待に応える上で、今、でき得る活動は何か、専門職としてのスキル向上を図ってもらうために不可欠な研修の機会をどのように確保していけばいいのか、多くの課題が山積みです。集会型で実施していた研修会も感染防止対策をとるなかで、当面は縮小せざるを得ません。現在、様々な方途を探るとともに、オンラインを活用したオンデマンド形式や会議ソフトなどを用いた同時双方向型の研修なども考えていかなければならないと思っております。

会員の皆様には、多大なるご配慮をお願いしなければなりません。この大きな山の向こうにあるアフター・コロナ時代の新しい管理栄養士・栄養士の姿を見据えて、今の難局を皆の力を結集して乗り越えていきたいものです。

## 本年度総会の開催報告

5月30日の通常総会は、新型コロナウイルスの発生により、その感染拡大を抑えるため、縮小した形での開催となり、会長表彰等の表彰式、特別講演は中止し、賛助会員による展示も中止としました。

そのような中、746名(本人出席25名、委任状提出者721名)の出席を得て、厳重な感染対策をとった上で実施されました。

会員の皆様には6月末に「通常総会の報告(議事録含む)」を送付させていただきましたが、第1号議案「2019年度事業実施報告及び収支計算書並びに財産目録等承認の件」、第

2号議案「理事・監事の選任の件」、協議「令和2年度事業計画及び収支予算書の概要について」が承認されました。総会に引き続いて、新理事による第1回理事会が開催されて役員等の選出が行われ、その結果について、総会出席者に報告されました。現在、新しい体制がスタートしています。



## 令和2年度 今後の予定

コロナウイルス感染拡大防止のために、事業内容が大幅に変更になります。

①各支部、職域事業	当初予定の計画を再考し、実施
②災害時緊急対応事業	研修会の充実と、「災害支援マニュアル」の仕様書の作成
③「栄養の日」キャンペーン	毎年県下統一で行っていたが、支部毎に内容を考えて実施
④「お財布にやさしいお手軽レシピ集」作成	昨年度は高校生・大学生対象に作成。令和2年度、3年度は、シニア対象として作成
⑤ホームページ見直し	会員専用ページに情報を提供

## 目次

P2 ~ 3・6

新理事(令和2~3年度)の紹介

P4 令和元年台風19号からの教訓

P5 令和元年台風19号災害対応について

# 新理事（令和2～3年度）の紹介



宮下佳代 飯澤裕美 宮坂綾子 藤森恵子 水野尚子 松木裕子 召田百合子 田中由紀子  
篠原純世 三井珠子 清水昭子 渡部直美 田中佳乃 井上敏子 佐々木桂子 風間悦子 上條治子  
川上恵美子 監事 林静子 監事 竹内佳代子 宮島京子 馬島園子 廣田直子 花岡佐喜子 園原規子 連盟支部長 柳沢喜美子 吉岡由美

理事は（公社）長野県栄養士会の下記の事業部に所属し、円滑に会の運営を進めていきます。

- 総務部 ……会の運営の総括、ホームページの更新・見直し、災害時の対応、など
- 人材育成事業部 ……各種研修会の企画・運営、図書の編さん等の検討、など
- 広報事業部 ……広報「栄養ながの」の編集、各事業の記録、など
- 栄養ケア・ステーション事業部 ……栄養ケア・ステーション事業の運営、など



## 副会長退任にあたって

前副会長 林 静子

園原、廣田会長のもと三期務めさせていただきました。栄養士会の在籍歴は長いのですが、学校健康教育の中でしか活動していなかったため、「井の中の蛙」状態でしたが、副会長の立場で色々な職域の方と交流する中で今まで知らなかった事を学ぶことができました。

また、管理栄養士・栄養士の置かれている立場を改めて認識する機会も多く、会の目的である「心身共に健やかに生きる県民の願いに応える責務を担う食と栄養の専門職業人たる集団」にもっと近づくように、同じ資格を持つ者としてもっと団結する必要性も感じています。今後は、監事として、会の発展のために協力していきたいと思っております。ありがとうございました。

## 退任にあたって

前常任理事 川上 恵美子

副会長、常任理事として理事を6年間務めさせていただきました。その間、公益社団法人としての地域社会に向けての事業や会員のスキルアップを目指した事業計画など、理事の一員として頭を悩ませながら取り組みました。近年は、在宅栄養ケア、災害時緊急対応など栄養士、管理栄養士に求められる役割も多様化、複雑化しており、特に在宅栄養ケアにおいては多職種との連携が求められ、栄養の職能団体としてのスキルアップがますます重要となります。「求められる場所で求められる機能が発揮できる長野県栄養士会」を目指して、引き続き監事として協力させていただくことになりましたのでよろしくお願い致します。

## ごあいさつ

副会長 馬島 園子

この度、前任期に引き続き副会長を務めることになりました馬島園子です。会の発展のために微力を尽くしたいと思っておりますので、どうぞ皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて昨年は台風19号で県内にも甚大な被害があり、まだその復旧も完了しないうちに新型コロナウイルス感染症で、誰も経験したことのない状況に世界中が陥りました。先が見えないことの不安は今も続いておりますが、私はこのような状況で強く「食べることは生きること」だと再認識しました。今まで以上に「栄養」の専門職として広く社会に貢献できること、そしてそのために会員一人ひとりがさらにスキルアップできるための長野県栄養士会の活動にできますようご協力をお願いします。

## 新副会長あいさつ

副会長 花岡 佐喜子

本年度から副会長を務めさせていただくことになりました花岡佐喜子と申します。現在新型コロナウイルス感染症予防を最優先に考え、様々な活動が自粛となっておりますが、栄養士会員であってよかったと会員の皆様から言っていたような長野県栄養士会を目指していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

昨年10月の台風19号では佐久市自宅近くの河川の氾濫を経験しました。今後大規模災害がいつ起きてもおかしくないとも言われています。県内で大規模災害が発生した際には、被災地の状況に対応した活動ができるJDA-DAT長野であることが必要だと考えています。そのためには会員の皆様の御協力をお願いいたします。

会員の皆様に新理事について、少しでも知っていただくために、理事の方々に日々思うことなど自由に書いていただきました。

氏 名 役 職	日々思うこと
柳沢喜美子 佐久支部長	<p>このままコロナが終息したとしても、今までの生活には戻れない。となると、栄養イベントはすべて仕切り直さなければならない。窓のない密室での栄養指導。大勢の人に集まってもらっての講演会。人の集まる場所での栄養普及活動。ましてや試食なんてとんでもない。</p> <p>どうしようこんな時に支部長なんて。でもまだ、イベントを始めるには時間がある。新しい役員と知恵をしよう。ピンチをチャンスに。</p>
吉岡 由美 佐久副支部長	<p>最初に勤めたのは銀行の健康管理センターでした。入行前の3月に2週間、銀行員になる人たちに交じり、札勘定や電話の応対などの研修を受けました。栄養士より銀行員に向いているなと思いました。その後、長野県で40歳を過ぎて短大の教員になりました。学生と一緒に学び、一喜一憂し、第二の青春時代を過ごしました。その間の多くの出会いが私の宝物です。どうぞよろしくをお願いします。</p>
田中由紀子 上小支部長	<p>コロナ禍の折、研修会や会議等が中止となり、平日は職場と自宅の往復のみで週末の買い物以外、出かける機会がなくなった。そんなわけで今年は毎週末、庭仕事ができている。グリーンカーテンの為の種まき、株分け、庭木の剪定、ハーブティーのためミントの乾燥等、体は疲れるが穏やかな気持ちになり、これが癒されるという事かと実感している。草むしりの後の達成感も捨てがたい。</p>
沼田百合子 上小副支部長	<p>昨年、地域ケア個別会議に助言者として参加しました。週に1回、2～3名の症例を検討します。担当者からの状況報告と課題を出してもらい、参加者が助言を行います。このような会議に初めて参加した私にとっては栄養士会で行った在宅ケア人材育成研修会がとて役に立ちました。専門職の集まりの中で栄養士ならではの助言を心がけました、常に足立先生の顔が頭の中にあいました。</p>
松木 裕子 諏岡支部長	<p>コロナ禍の折、研修や会合が無くなり、自分の時間が増えました。落ち着いて生活でき助かる面もあります。しかし、偶然に出会い繋がった人々が、自分の後押しをしてくれる場合もあります。細々ですが、訪問栄養食指導を始めることができたのは、研修等で偶然知り合った他職種の仲間のお陰でした。新しい生活の中で、どう繋がりを築いていくか、研鑽していくか課題だと思います。</p>
藤森 恵子 諏岡副支部長	<p>コロナ禍の折、世間では料理教室の開催が難しい状況となっております。諏訪市では半世紀に亘って地区の公民館で在宅栄養士が分担して講師となり健康料理教室を行ってきています。減塩食について等毎年テーマを決め50会場位で行っています。今年はコロナで中止となりましたが、みんなで力を合わせて再開させ、地域の健康維持のための啓蒙活動をしていきたいと思っています。</p>
清水 昭子 伊那支部長	<p>このたび伊那支部長をさせていただくことになりました。</p> <p>当院では、集団指導に「中食で1食を考える」という内容を取り入れています。選んだ料理のエネルギーの多さに驚く方も多く、新型コロナでテイクアウトが増えコロナ太りも心配される中、改めて「食の選択力」を身につけることの大切さを感じます。力不足ですが、皆さんと情報交換し、成果につながるよう努めていきたいと思っています。</p>
三井 珠子 伊那副支部長	<p>5年前からウォーキングを始めています。周りの景色に癒され、ストレスや不眠、腰痛も解消しおすすめです!! 失敗はつつい度を超し、膝を痛めたこと。`ほどほど、を痛感しました。ウォーキングは現在中断。YouTubeで簡単なストレッチ等を少し実践してます。YouTubeを見ながら、私には苦手なIT 関係ですが、若い人の力をかりて住民へのアプローチに活用できるといいなあと感じています。</p>
井上 敏子 飯下支部長	<p>私の勤務する学校では今、給食を全員が一方向をむき、長机の端と端に座って会話もなく食べています。少しでも明るい気持ちで食べられるよう季節の飾り付けをしたり、音楽を文化委員会に依頼したりしています。生徒の運動量が減り食欲が落ちているのも気になります。40年学校給食の仕事をしてきて、「楽しく食べること」をこんなに考えたのは初めてです。</p>
佐々木桂子 飯下副支部長	<p>栄養マネジメントが開始された年に現在の特養に就職し、早15年程になります。</p> <p>当初は利用者さんの名前と顔を覚えるだけでやっとでしたが、今では利用者さんから「聞きたいことがあって待ってたよ〜!」と声を掛けられ、様々な話ができます。</p> <p>また利用者さんのご家族や地域の方、施設の職員から食や栄養の相談もある中で、正しい情報を分かり易く伝えられるようスキルアップに努め、話しやすい身近な栄養士でありたいと思っています。</p>
水野 尚子 中信支部長	<p>私は福島県いわき市の出身です。松本の地にて三十三年余り過ごしています。栄養士としての活動をはじめたのは二十年前、地域活動の先輩方から「現場で働く栄養士の仕事の大切さ」について熱く教示していただいたことが今の活動に活かされています。食が健康に深く影響されることから、食生活の行動変容を促し健康増進に繋げていく働きは専門職としての使命感を感じています。</p>
飯澤 裕美 中信副支部長	<p>昨年度作成したレシピ集の作成に携わりました。長年の栄養士で身についた「家庭料理はこうあるべき」の思考回路の私には、若い人たちから寄せられた簡単、時短のアイデアに「なるほどこうきたか」の驚きの連続でした。そこから既成概念にとらわれない発想!の料理に挑戦してみるのがこれがなかなか難しい。固まった頭の体操のためにしばらく続けてみようと思うこの頃です。</p>

# 令和元年 台風19号災害からの教訓

## 災害に備える

会長 廣田 直子

昨年の台風19号による長野県内各地の被害がまだ記憶に新しく復興途上であるなか、本年も梅雨の時期に、日本各地で大雨による被害が発生しています。長野県内で被災された方々もおられ、心よりお見舞い申し上げます。地震や異常気象などによる災害は、いつ何時、私たちの身に降りかかってくるかわかりません。このような災害への備え

として、人々の栄養管理や給食管理、また、栄養指導や健康づくりを担う管理栄養士・栄養士はどの準備し、何をしておくべきなのでしょう。また、昨年の台風災害に際しては、本会として初めて災害対策本部を立ち上げて活動を実施しましたが、多くの課題が残りました。大規模な発災時の災害支援について、栄養士会として、何を準備し、

どのような活動を展開すればよいかを早急に検討していかなければなりません。この企画では、昨年の台風災害時に自分の職場が被災された会員の皆様や本会が立ち上げた災害

対策本部で活動してくださったJDA-DAT長野リーダーから、そのときの状況や対応をご報告いただきます。この企画が、会員の皆様の今後の防災や災害対策等につながることを願っています。

### 被災してわかったこと

改めて社会貢献していく企業に、そして実行！  
株ミールケア 田子美津子

令和元年10月13日の未明に発生した千曲川堤防決壊で、弊社は甚大なる被害を受けることになりました。

計画(事業継続計画)、働く社員の環境を整えることが挙げられます。復興目指して進む企業として、人々に勇氣や元

世の中には「まさか」ということがあります。が、本当にまさか！はありません。本社機能、広告塔として存在していた「みーるんヴィレッジ」「ビュッフェレストランみーるマーマ」みーる農園、ペーカリー工場と、言葉では言い表せないくらいの衝撃が目の前にありました。

私たちが、社会貢献、地域貢献、信頼できるお店、商品、なにより安心して社員が働ける環境を迅速に判断して前進していきます。



しかし、悔やんでも、立ち止まってもいられない。現実が現実。天を恨まず、運命として捉えるしかありませんでした。すぐにごみ出し、泥かき、洗浄の日々。泥との闘いは3か月以上続きました。



昨年の台風19号における活動を教訓に、災害時においても食生活の面で県民を支えることが出来る栄養士会として取組んでいきたいと思います。

### 長野県栄養士会

#### 災害支援活動について

JDA-DAT長野リーダー 林 静子

1年前の災害の傷跡が残っている中、また日本列島を非情な大雨が襲い、各地で大変な災害が発生しています。異常気象による災害や、南海トラフ地震などに対して長野県栄養士会としてどのような立場でどんな支援活動をしたらいいのか、日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)マニユアルを参考に今年度新たに「長野県栄養士会災害支援マニユアル」を作成しました。次の段階としては、県をはじめとして各自自治体と「災害時における協定」を結ぶ事です。栄養士会は災害時に「要配慮者に対する栄養・食生活の指導や避難所において食生活に必要な物資の仕分けや管理などの業務が出来ます」

ということを周知して貰う必要があります。協定がないと災害時に対策本部と綿密に連携していくことは出来ません。さらに、協定を結ぶ限りは求められる業務を全うできる組織作りと訓練も必要になってきます。今年度は8月に2回のスタッフ研修を計画しています。コロナの関係で人数制限がありますが、是非参加していただき、研修を受けたからにはスタッフ登録をしてください。残念なことに今年度は日栄の「リーダー養成研修会」の実施については未定なのですが、災害時は行政の管理栄養士・栄養士が中心となつて活動する事が大前提です。スタッフ研修には非行政の皆様の受講をお願いいたします。



# 令和元年台風19号災害対応について

東御市北御牧学校給食センター 栄養教諭 下村 茜

## ➤ 当時の状況

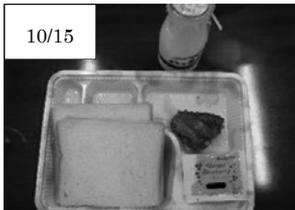
- 10月12日（土）…この日発生した台風19号の影響で地区内の水道管が壊れ、東御市北御牧学校給食センターも断水し機能なくなりました。断水の家庭も多く弁当対応が困難であり、給食は教育委員会からの指示により、東御市内の田中小学校・東部中学校で作って、それを北御牧小・中学校へ運んで提供することとなりました。
- 10月13日（日）…献立内容等検討するため、各学校栄養教諭、調理主任と相談。東部中と田中小の献立になるべく合わせる形で北御牧小・中の献立が決定しました。
- 10月15日（火）…写真①は、東御市北御牧小学校横の鹿曲川の様子です。台風から2日が経っていますが、川の水が道路まで流れ込んだ様子が分かります。写真②は、東御市北御牧学校給食センターの様子です。鹿曲川の水が溢れ、センター内に水が流れ込みました。積もった泥は15~20cmもありました。



## ➤ 献立の対応

- 北御牧小学校の献立です。田中小で食器類を洗うことは難しいため、紙皿や割りばしで提供しました。  
→田中小から北御牧小へは主菜、果物を配送

	主食	主菜	副菜	汁もの	デザート又は果物、その他	牛乳
10/15 (火)	食パン	鶏のから揚げ			ブルーベリージャム	○
10/16 (水)	ごはん	さんまのかば焼き			梨	○
10/17 (木)	わかめごはん	コロッケ			りんごっこゼリー	○
10/18 (金)	ゆかりごはん	さばの塩焼き			レモンソーダゼリー	○
10/21 (月)	菜めし	ちくわの磯辺揚げ		救給根菜汁	お米のムース	○



- 北御牧中学校の献立です。東部中で、食器やはしなど洗うことができたので、ほぼ同じ献立を作って、通常の給食と変わらない形で提供できました。  
→東部中から北御牧中へ 主菜、副菜、汁ものを配達

	主食	主菜	副菜	汁もの	デザート又は果物、その他	牛乳
10/15 (火)	ごはん	きのこのカレー	キャベツの甘酢あえ			○
10/16 (水)	ごはん	魚のマスタード焼き	黄金あえ	五目煮		○
10/17 (木)	ソフト麺	ししゃものごま揚げ	和風れんこんサラダ	みそラーメン汁		○
10/18 (金)	ゆかりごはん	鶏肉のマーマレード煮	春雨サラダ	わかめスープ	レモンソーダゼリー	○
10/21 (月)	菜めし	ポテトとレバーのケチャップ煮	糸寒天のサラダ	中華コーンスープ		○

ごはん…炊飯業者へ委託。パン・牛乳…通常通り。

- 食物アレルギー対応の児童・生徒について…普段アレルギー対応している児童・生徒の保護者全員に連絡を入れ、個々の対応は弁当持参のお願いをしました。(果物アレルギーのみ一部給食センター対応)

### 給食再開に向けて

- 10月19日（土）…水道が復活。業者による水質検査実施。(濁り (+)、汚れ (+)、残留塩素濃度 0.2ppm)
- 10月21日（月）…業者による水質検査再度実施。(問題なし)
- 10月23日（水）…通常通り給食再開。

## ➤ 今後に向けて

断水していた10月15日~21日の間、田中小、東部中の各学校の栄養教諭、調理員の皆さん、そして北御牧給食センターの調理員も田中小、東部中の各学校の給食施設へお手伝いに行き、ご協力いただく中で、給食を提供することができました。また、小・中学校の児童・生徒にも多くの人々に支えていただいていることを考えさせる機会となりました。

今回の災害で、普段何気なく使用している「水」のありがたさを感じると共に、たくさんの方々のお力により、断水中やその後も安全に給食が提供できて感謝の気持ちでいっぱいでした。今回このような対応は初めてでしたが、普段からのチームワーク作りや衛生管理の徹底、このような災害が起こったときの危機管理マニュアルの確認、そして地域の状況を確認し、関係機関と連携して判断することの大切さを学びました。それを今後に生かしていきたいと思えます。

氏 名 役 職	日々思うこと
風間 悦子 北信支部長	コロナ禍の折、自粛お見舞い申し上げます。自粛中、会議や授業、イベント等のオンライン化の情報が、様々流れていましたね。私も、相手の心に届き、目的が達成できるよう、オンライン化を色々やってみているところです。北信支部の事業も、役員を中心に知恵を集めて、どういう形ならできるのかと、組み立て直しています。新たな生活様式スタート、頑張るところです。
宮島 京子 常任理事	大学を卒業して長野県職員になり 38 年間勤め、定年退職して3年が経ちました。県職員という職業柄、職域は、公衆衛生、医療、学校と移動し、地域は、北信を中心に、中信、上小と移動して参りました。趣味は、国内又は海外を旅行し、その土地の料理を楽しむことですが、コロナ禍もありますし、気長に少しずつと思っています。
竹内佳代子 常任理事	私は田舎の農家の生まれ。母が忙しい農作業の合間に作るお小昼（今でいうおやつ）、笹餅、おやき、こねつけ等、食べるのも一緒に手伝って作ることも好きでした。職場で子ども達の育ちを見守る中、自身の子どもの時代のような原体験が重なったこともしばしば。食を楽しみ、恵みに感謝してきた田舎暮らしが私の原点にあるのだと思います。食と栄養に秘められた力、まだまだ学び続けている途中です。
篠原 純世 医療事業部長	最初は一人職場でした。相談できる人は前任者だけでした。次は管理栄養士が他にもいて、相談が出来るようになりました。今はグループ内に10人以上いる職場です。相談も即、数人に出来ます。色々な職場でやってきたからこそ、気持ちが分かります。今年は診療報酬改定もあり算定に関する疑問に思うことが多かったと思います。日本栄養士会からの情報を早く伝わるようにしていきたいです！！
渡部 直美 学校健康教育 事業部長	子どもの頃から食べることが大好きで、学校栄養職員として仕事を始め、途中任用替えて栄養教諭となりました。おいしいものを食べると、「これ給食で出せないかな?」と考えたりしながら、日々務めています。今まで当たり前に出せた給食が、当たり前でなかったことを改めて感じながら、感謝の気持ちを忘れず、子どもたちを真ん中に据えた食育の推進を、仲間とともに進めています。
上條 治子 勤労者支援 事業部長	甘い物も、揚げ物も、ビールも大好き！時には飲んだ後にラーメンも食べます。自称「節度ある不摂生」推進派である私は、好きな物を食べる一方、ごはんを減らしたり、運動をしたりして調整もします。もちろん野菜も好きですし、基本的には、バランスのよい食事を心がけてはいます。こんな私ですが、これからの時代を生き残っていける栄養士にならなければと痛感しているこの頃です。
新海 シズ 研究教育 事業部長	コロナ禍で4月から毎朝の検温が日課になり、5月私の平均体温は36.1℃でした。疾病予防のために36.5℃以上の体温であることが目標です。免疫力を高めようと生活してきましたが、4・5月は歯医者通い、その後は皮膚科を受診し不調が続く、気持ちに体がついていかれないと思いながら過ごしました。現在体調は好調、新しい生活様式に呼吸を整える習慣を加えたいと思います。
田中 佳乃 公衆衛生 事業部長	就職してから、職場は変わっても病院、行政、福祉施設及び学校の栄養士として勤務してきました。「栄養士」という資格は同じでも、職場（職域）が違うとこんなにも違うのかと思うことが度々。その都度、栄養士の幅広さと奥の深さを知りました。限られた物の見方ではなく、いろいろな角度から物事が見られるように心がけていきたいと思っています。
宮坂 綾子 地域活動 事業部長	子どもの頃より、家庭科の授業が好きだった私。進学を考えた時、被服関係より栄養関係の職業の方が良いのではないかという母の勧めもあり、栄養士（管理栄養士）を目指しました。結果、職業としては、管理栄養士をしていますが、コロナ休暇を利用してマスクをはじめとする小物づくりに精を出していました。久しぶりのまとまった休暇でしたが、楽しい日々が過ごせました。
宮下 佳代 福祉事業部長	高校2年の夏、家庭科の課題で立てた献立を先生がとてもほめてくださった事がありました。その出来事が当時ほかの道を目指していた私の気持ちを「栄養士」に向けてくれ、同時に私の栄養士としての原点です。また、その時にいただいた先生の言葉は、時に励みとなり、時に当時の自分を初心に返らせてくれる「パワーフレーズ」です。



編集後記

花形と言われた職種も、現在、AIによって様変わりしつつあります。そんな中、私たち栄養士の仕事は、何年先でも、なくなることはない職種と言われています。世の中の変化を瞬時に判断し、対応することが出来る、人間力が必要とされるからだと思えます。新型コロナウイルス、水害、地震等様々な災害に怯えている今夏ですが、非日常時に、自分たちには何が出来るのか、常に意識していきたいものです。

8年間、広報部長として「栄養ながの」の編集に携わってまいりましたが、このたび退任することになりました。これからは会員のみなさまにとつて有益な情報源となるよう願っています。  
(宮坂綾子)

編集委員

- 飯澤 裕美
- 風間 悦子
- 田子 美津子
- 藤森 恵子
- 丸山 景子
- 宮坂 綾子